

学校現場で活躍する先輩たち

採用後、数年を経験した先輩たちからの思いを込めたメッセージです



小学校教諭 奥村 陽平 先生

小学校の教員は、子どもたちと過ごす時間が長いことが一番の特徴だと思います。授業で子どもたちと一緒に考えて問題を解決していく中で、子どもたちの成長を間近で感じることができ、とてもやりがいを感じています。小学校の教員は、全ての教科を教えるため、量が多く、大変だと思われるかもしれませんが、私自身仕事をしながら、アルティメットというスポーツの日本代表として練習をしたり、国際大会に出場したり、仕事とプライベートを両立することができています。これは自分ひとりの力ではなく、温かい職場の先生方や教育委員会の方の支えがあってできることだと日々感謝しています。経験の豊富な先輩からは、授業力を高めるために具体的なアドバイスを頂いています。また、面倒見のよい先輩方も多く、上手くいわず悩んでいる時には相談に乗ってくださいます。その経験から、人として成長することができていると実感します。そんな魅力的な神奈川で、小学校の教員をめざしてみませんか。待っています。

中学校教諭 海老澤 友紀 先生

私は社会人の経験を経て教員になりました。教員としてまだまだ勉強することは多いですが、自分の知識や経験を生かして、様々なことに挑戦できることが楽しいです。また、経験や年齢を問わず、先輩や同僚の先生方と意見を交わしながら、研修や授業研究を行っています。同じ教科の先生方と評価や授業の進め方について何度も話し合い、実践と改善を繰り返しながら「よりよい授業」をめざしています。中学校は教科担任制ですが、困ったことがあった時は同じ教科の先生方に相談したり、同じ学年の先生方とチームで協力して対応したりすることができます。日々の業務は大変なことも多いですが、その分、子どもたちの葛藤や成長を間近で見ることができます。個人としての成長はもちろんのこと、集団としての子どもたちの成長を間近で見ることができるこの仕事は、やりがいや喜びも大きいです。特に部活動では、子どもたちが自分の役割を見つけたり、仲間がいるから頑張れたり、集団の中にいるからこそその成長を見ることができます。そのために、教員が意図的に仕掛けることもありますが、子どもたち同士が影響し合って成長していく姿は本当に素敵です。授業やクラスで見る子どもたちとは違った一面が見られることも部活動の魅力です。個性豊かな先生たちと子どもたちが皆さんを待っています！ぜひ神奈川で教員になってみませんか？

高等学校教諭 石森 瀬理花 先生

高校生の15歳～18歳はちょうど子どもと大人の境目にあたり、3年間でぐっと成長が感じられる時期です。自分の進路や将来について悩む生徒がしっかりと自分の目標を決め、一人ひとりが目標を達成できるようサポートしたり、成長を見守ったりするのはとてもやりがいがあります。進路が決まって嬉しそうに報告に来てくれた時に一緒に喜びを分かち合えるというのが教員という仕事の魅力のひとつだと思います。また、普段の会話の中で気付きをもらったり、生徒の発想に感心させられたりすることも多く、よい刺激をたくさんもらえます。そのため、授業でも生徒自身がしっかり考え、人に考えを話したり、文章を記述したりと言葉で表現する時間を取ることを大事にしています。一方、授業づくりや生徒指導で悩んだ時には、周りの先生方が親身に相談に乗ってくださるので安心して働けます。これからも先生方と連携しながら、日々成長していく生徒たちと真摯に向き合っていきたいと思っています。

特別支援学校教諭 斎藤 大司 先生

特別支援学校で働くことの魅力は？と訊かれたら、私は「日々生徒の成長を目の前で感じることができること」と答えます。昨日まで、できなかったことが、今日になってできるようになっている姿を見たときの嬉しさは本当に忘れられません。また、特別支援学校はチームで教育活動に取り組んでおり、様々な視点で生徒を見ることで新たな一面に気付いたり、どのようにしたら生徒が楽しく学べるかについて話し合ったりするのはとても有意義な時間です。研修では、児童生徒の理解のためにアセスメントを活用することや組織的な授業改善などについて学びました。その研修を活かし、生徒一人ひとりに寄り添う指導を行い、手立てを工夫した授業づくりに日々取り組んでいます。授業や学校生活をとおして生徒に向き合い、成長の瞬間を多く見ることができる教員の仕事はとてもやりがいのあるものです。生徒や保護者、同僚の先生方からたくさん刺激を受け、自分自身もさらに成長したいと思いつけられる仕事だと思います。ぜひ、神奈川で一緒に働きましょう！

養護教諭 坂田 千夏 先生

養護教諭は、全校児童の心身を守り支える、責任感とやりがいを感じられる仕事です。また保健室は、子どもたち一人ひとりの感情や表情に触れる機会が多い場所です。けがや病気の応急処置ができる場所であることはもちろんですが、困った時に真っ先に思い浮かぶ場所になれるように、「全校児童の顔を覚え、名前を呼んで声をかけること」を心掛け、子どもたちと関わることを意識しています。子どもたちとの会話はとても楽しく、成長を感じる大好きな時間です！また、いつも保健室で子どもたちを迎えるため、自分自身のリフレッシュと健康も大切にしています。校内に少数(1～2人)の職種のため緊張感もありますが、一緒に考え対応して下さる先生方に支えられ、安心して仕事をしています。他にも、分からない事があれば市内の養護教諭の先生がすぐに相談に乗ってくださるため、心強いです。このように、自分自身を成長させる環境があります。自然あり、都市部ありの神奈川で充実した教員生活を送りましょう！

横須賀市立馬堀小学校
奥村 陽平 先生



人として成長することができる

逗子市立沼間中学校
海老澤 友紀 先生



様々なことに挑戦できることが楽しい

神奈川県立厚木高等学校
石森 瀬理花 先生



日々成長していく生徒たちと真摯に向き合っていきたい

神奈川県立高津支援学校
斎藤 大司 先生



日々生徒の成長を目の前で感じることができる

平塚市立崇善小学校
坂田 千夏 先生

困った時に真っ先に思い浮かぶ場所でありたい

